

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育学プログラム

（博士課程前期）

教育学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文若しくは特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、「修士（教育学）」の学位を授与する。

- (1) 教育関連諸科学における諸概念や理論に関する専門的な知識を有し、これらを総合的に把握することができる。
- (2) 情報収集、統計分析、観察法、情報処理など、教育学の研究手法や外国語運用能力を活用し、自ら設定した課題を分析・考察することができる。
- (3) 自らの思考プロセスを論理的に説明し、伝達するためのコミュニケーション能力を持っている。
- (4) 学術的な知見を応用して、具体的な教育課題に対する研究開発・問題解決・政策立案など、教育に関する研究・実践を展開し、その成果を発信できる。
- (5) 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。
- (6) 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。
- (7) 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。
- (8) 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。

（博士課程後期）

教育学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、「博士（教育学）」の学位を授与する。

- (1) 教育関連諸科学における諸概念や理論に関する高度な専門的知識を十分に有し、これらを総合的に把握することができる。
- (2) 情報収集、統計分析、観察法、情報処理など、教育学研究で用いられる研究手法や外国語運用能力を自在に活用できる。
- (3) 具体的な教育課題に対して、高度な研究手法を応用し、分析的・批判的・応用的に学術的研究を推進できる。
- (4) 研究開発・問題解決・政策立案など、教育に関する研究・実践を、学術的な知見の蓄積に基づいて発展的に展開し、その成果を国際的に発信できる。
- (5) 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。
- (6) 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。
- (7) 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。
- (8) 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。